

患者の皆様へ

令和4年6月10日

耳鼻咽喉科

現在、耳鼻咽喉科では、「咽喉頭逆流症」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2015年10月1日から2020年12月28日までの慢性咳嗽に関する診療情報などを利用し、論文としてまとめさせていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「咽喉頭逆流症関連慢性咳嗽に対するボノプラザンの効果の検討」

2. 研究の意義・目的 「胃酸の逆流により咽喉頭症状を引き起こす病態を咽喉頭逆流症と呼び慢性咳嗽の原因となる場合がありますが、正確な胃酸分泌抑制薬の効果はわかっていません。当科で行ったインピーダンス検査により咽喉頭逆流症と診断された慢性咳嗽をお持ちの患者様に対する胃酸分泌抑制薬(ボノプラザン)の効果を検討する事が目的です。」

3. 研究の方法 上記期間にインピーダンス検査により咽喉頭逆流症と診断されボノプラザンを投与された慢性咳嗽をお持ちの患者様の診療情報を匿名化して解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院耳鼻咽喉科

医師 鈴木猛司

043(222)7171 内線5353

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。